

正 誤 表
-------

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。  
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

### 2023 応用情報技術者 午後問題の重点対策 第1版 第1刷(電子書籍版含む)

No	訂正箇所	正																																										
1	P.241 表1中の罫線が抜けておりました。	<p style="text-align: center;"><b>表1 全社で発生している主要な通信の種類と内容</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>種類</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>業務サーバ利用通信</td> <td>NPCから業務サーバ利用時の通信</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>FS1利用通信</td> <td>NPCとFS1の間でのファイル共有時の通信</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>営業所FS利用通信</td> <td>営業所のNPCと営業所用のFSの間でのファイル共有時の通信</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>プリント通信</td> <td>NPCからPRに印刷を行うときの通信</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>インターネット利用通信</td> <td>NPCからインターネットにアクセスするときの通信</td> </tr> </tbody> </table>	項番	種類	内容	1	業務サーバ利用通信	NPCから業務サーバ利用時の通信	2	FS1利用通信	NPCとFS1の間でのファイル共有時の通信	3	営業所FS利用通信	営業所のNPCと営業所用のFSの間でのファイル共有時の通信	4	プリント通信	NPCからPRに印刷を行うときの通信	5	インターネット利用通信	NPCからインターネットにアクセスするときの通信																								
項番	種類	内容																																										
1	業務サーバ利用通信	NPCから業務サーバ利用時の通信																																										
2	FS1利用通信	NPCとFS1の間でのファイル共有時の通信																																										
3	営業所FS利用通信	営業所のNPCと営業所用のFSの間でのファイル共有時の通信																																										
4	プリント通信	NPCからPRに印刷を行うときの通信																																										
5	インターネット利用通信	NPCからインターネットにアクセスするときの通信																																										
2	P.242 表2中の罫線が抜けておりました。	<p style="text-align: center;"><b>表2 VDI導入後の最も混雑した時間帯に必要な平均通信帯域の予測値</b></p> <p style="text-align: right;">単位 ビット/秒</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項番</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">平均通信帯域</th> </tr> <tr> <th>本社 仮想 PC</th> <th>全営業所 仮想 PC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>業務サーバ利用通信</td> <td>仮想PCと業務サーバの間の通信</td> <td>100M</td> <td>25M</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>FS1利用通信</td> <td>仮想PCとFS1の間の通信</td> <td>60M</td> <td>7.5M</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>営業所FS利用通信</td> <td>営業所の社員向けの仮想PCと営業所用のFSの間の通信</td> <td>—</td> <td>7.5M</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>プリント通信</td> <td>仮想PCからPRに印刷を行うときの通信</td> <td>80M</td> <td>20M</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>インターネット利用通信</td> <td>仮想PCからインターネットにアクセスするときの通信</td> <td>60M</td> <td>15M</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>画面転送通信(社内)</td> <td>仮想PCから本社内及び営業所内のTCへの通信</td> <td>60M</td> <td>15M</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>画面転送通信(外出先)</td> <td>仮想PCから外出先のTCへの通信</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">36M</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記1 各通信の最も混雑した時間帯は、同一の時刻とする。 注記2 各通信とも双方向で行われるが、平均通信帯域の欄は、通信帯域が大きい通信方向の値を示している。</p>	項番	種類	内容	平均通信帯域		本社 仮想 PC	全営業所 仮想 PC	1	業務サーバ利用通信	仮想PCと業務サーバの間の通信	100M	25M	2	FS1利用通信	仮想PCとFS1の間の通信	60M	7.5M	3	営業所FS利用通信	営業所の社員向けの仮想PCと営業所用のFSの間の通信	—	7.5M	4	プリント通信	仮想PCからPRに印刷を行うときの通信	80M	20M	5	インターネット利用通信	仮想PCからインターネットにアクセスするときの通信	60M	15M	6	画面転送通信(社内)	仮想PCから本社内及び営業所内のTCへの通信	60M	15M	7	画面転送通信(外出先)	仮想PCから外出先のTCへの通信	36M	
項番	種類	内容				平均通信帯域																																						
			本社 仮想 PC	全営業所 仮想 PC																																								
1	業務サーバ利用通信	仮想PCと業務サーバの間の通信	100M	25M																																								
2	FS1利用通信	仮想PCとFS1の間の通信	60M	7.5M																																								
3	営業所FS利用通信	営業所の社員向けの仮想PCと営業所用のFSの間の通信	—	7.5M																																								
4	プリント通信	仮想PCからPRに印刷を行うときの通信	80M	20M																																								
5	インターネット利用通信	仮想PCからインターネットにアクセスするときの通信	60M	15M																																								
6	画面転送通信(社内)	仮想PCから本社内及び営業所内のTCへの通信	60M	15M																																								
7	画面転送通信(外出先)	仮想PCから外出先のTCへの通信	36M																																									
3	P.32 問題文に下から2行分抜けておりました。	<p style="text-align: center;">A社では、情報セキュリティ担当役員を委員長とする情報セキュリティ委員会によって、<b>情報セキュリティ管理規程(以下、管理規程という)</b>が整備されている。管理規程の内容を基に、次のように運用されている。</p>																																										

No	訂正箇所	誤	正
4	P.651 下から 14 行目	表 1 の PV	表 2 の PV
5	P.370 ☒ 1	<p>凡例  ——: 1 対 1  ——&gt;: 1 対多  &lt;——: 多対多</p> <p>エンティティ名  属性名  属性名  属性名  ⋮</p> <p>注記 属性名の実線の下線_____は主キー、破線の下線_____は外部キーを示す。主キーの実線が付いている属性名には、外部キーの破線を付けない。</p>	<p>凡例  ——: 1 対 1  ——&gt;: 1 対多  &lt;——: 多対多</p> <p>エンティティ名  属性名  属性名  属性名  ⋮</p> <p>注記 属性名の実線の下線_____は主キー、破線の下線_____は外部キーを示す。主キーの実線が付いている属性名には、外部キーの破線を付けない。</p>
6	P.375 下から 10 行目	この部分では、納品と納品明細を発注番号の一致という条件で等結合 (INNER JOIN) しています。	この部分では、納品と納品明細を納品番号の一致という条件で等結合 (INNER JOIN) しています。
7	P.375 下から 2・3 行目	なお、②と同様に、結合されている納品明細の発注番号も同じ値ですから「GROUP BY DD.発注番号, DD.商品番号」としても正解です。	左記削除
8	P.413 下から 3 行目	この記述に沿って商品クラスを見ると配送手続というメソッドが定義されていますが、このクラスを継承している予約販売商品、通常商品クラスの双方にも、販売手続というメソッドが定義されています。	この記述に沿って商品クラスを見ると配送手続というメソッドが定義されていますが、このクラスを継承している予約販売商品、通常商品クラスの双方にも、配送手続というメソッドが定義されています。